

ショウブのお風呂はいかが？

5月5日のこどもの日は端午の節句といい、ショウブ湯に入るといふ風習があります。その頃、八百屋や花屋で売られているショウブや、銭湯でショウブ湯の看板を見かけますが、今では入る人、入ったことがある人は少ないかもしれません。ショウブの葉を浮かべたお風呂は、精油成分のよい香りで体を温めてくれます。

ショウブというと、ハナショウブ（写真1）が思い浮かぶかもしれませんが、まったくちがう種類の草です。ショウブの葉は、ハナショウブと同じようにずっと長い剣のようですが、その花はとても地味です（写真2）。葉を折ると、ふくまれている精油成分のすっきりとした香りが強くにおいます。ハナショウブは、葉を折っても良い香りはしません。

自然の中では、ショウブはため池などの水の流れの少ない岸边、特に泥地に生えることが多いのですが、水辺の改修工事によるコンクリート化でそのような場所は減り、今ではめずらしい草になっています。自然環境が変わると、そこに生える植物や生活する動物の顔ぶれは変わります。それまでよく利用していたなじみ深い生き物がいなくなると、生活にとけ込んでいた風習や文化も失われていくことを、ショウブが教えてくれるように感じます。

（2011年4月 さかいなおこ）



写真1 ハナショウブ

アヤメの仲間（アヤメ科）で花が観賞される。



写真2 ショウブ

ミズバショウと同じ仲間（サトイモ科）。葉につやがあり、花はとても地味で花びらが無い。棒状の花にはオシベとメシベだけがたくさんついている。花がついているものは、花より下の部分は茎、花より上は苞という。ミズバショウは苞が白く、大きく広がっている。